

# 大隅の古墳群の歴史的な重要性

岡崎18号墳発掘調査から

上野原縄文の森(岡分市)で開催中の企画展「命と祈りの考古学」では、志布志周辺の古墳について、近年大隅半島の古墳についてコナトを削いでいる。地域の視点で古墳時代を研究博物館の橋本達也助教授(考古学)に、その歴史的な重要性について寄稿してもらった。

鹿児島大学総合研究博物館助教授 橋本 達也



はしもと・たつや氏 1986年、早稲田大学大学院文学研究科考古学専攻修了。徳島大学助手を経て201年から現職。

かつて日本に前方後円墳をはじめ、円墳という巨大な墓を造った良・高山・大崎町あたりが、大隅の時代があったことや、大阪府にある仁徳天皇陵とよほ、西暦三世紀半ばから七世紀初めまで有力者のために造られ、存在を知っている人は多いため、大隅の古墳群は世界的にも巨大な古墳である。そして古墳時代は、鹿兒島にいたろう。では、鹿兒島に大隅の中心地域は大隅の肝煎平

## 広域交流の結節点

も巨大な前方後円墳がある代は有力者が古墳の形を調査を開始、幸いにも大きな成果を得ることができた。また岡崎18号墳は円墳であるが、その墳丘の裾部分に、埋葬施設の構造や副葬品など身分・階層や政治的方針が読み取れる。大隅の中心地域は大隅の肝煎平

## 地域の独自性研究が急務

に墓室を掘り込んで地下に人が出土した。鉄銚は鉄の製法である。五世紀前半の通じたものである。これを岡崎18号墳では朝鮮半島問題などを含む日本民族の形成過程を明らかにする。また、奄美以南が採取の古墳の体をつかむこと



岡崎18号墳墳丘(上部)と地下式横穴墓(橋本助教提供) 2003年9月、串良町

だ。また、奄美以南が採取の古墳の体をつかむこと... 形成過程を明らかにする。また、奄美以南が採取の古墳の体をつかむこと... 形成過程を明らかにする。また、奄美以南が採取の古墳の体をつかむこと... 形成過程を明らかにする。

とほ間違いない。この地域... 明らかにならず課題は多く... 明らかにならず課題は多く... 明らかにならず課題は多く...